

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	伝統科学と近代科学との相剋		
英文授業科目名	Analytic Study of Traditional Science of East Asia Affected by Modern Science		
開講年度	2006年度	開講年次	3、4年次
開講学期	6、8学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	佐藤 賢一		
居室	東1-713		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
東アジアの伝統社会がいかにして近代科学を受容したのかについて、多様な資料を用いて紹介する。科学史の側面から見た東アジア史を再構築し、当時の人々が採った態度を追体験することを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：なし
参考書：授業時に指示する。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

少人数授業（演習形式）の特性を生かし、原史料を提示しながら授業を進める。以下のような内容を中心に見ていく。

- ・蘭学
- ・ヨーロッパ近代科学(天文学)
- ・イエズス会師の活動
- ・伊能忠敬の地図作製
- ・幕末日本の科学技術

江戸時代の文書や印刷物を読むための初歩的な知識は、講義時に説明をする。

受講希望者多数の場合は学期の最初にレポートを課す。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出欠（8割以上）、演習での発表（1回）、レポート提出（1回）を満たした場合を「可」とする。「可」以上の評価については、上記を総合的に判断して行う。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は講義時に受け付ける。

【学生へのメッセージ】

知的な好奇心旺盛な方の参加を望みます。特に予備知識は求めません。

【その他】